

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	21世紀の森
指定管理者名	株式会社アグサ
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課	森林再生課

選定基準大項目	評価項目				審査(評価)の視点(C)	提案内容(D)	指定期間 令和3年度の事業実績(E)	所管課による課題分析等(F)	事業実績の確認方法(G)				
	選定基準中項目(A)	小項目(B)	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	管理運営方針	5	5	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	・かながわSDGs取組方針等を踏まえ、これまで以上にその存在価値・付加価値を高め、神奈川県随一の森林資源・森林展示機能・水源涵養林機能などを有する施設として、その機能を十分に発揮し、長年にわたり継続できるような21世紀の森管理運営方針を策定する。	・新たな運営方針を策定の上、当該方針に基づいた事業計画も策定して管理運営を行っている。	・提案に基づいて適切に実施している。	○			
			施設役割を理解し、特性を活かした指定管理業務が見込めること			・健康的なライフスタイルを提供できる健康増進プログラムを実施する。21世紀の森でのプログラム立案という形で実施し、神奈川県民の健康増進に貢献する。また、「未病いやしの里の駅・森の駅」として県西地域活性化プロジェクトを推進するようなプログラムを準備する。	・プロジェクトの支持・支援のためパンフレット等への掲載にも参加している。また、プログラムの立案等を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、今後の更なる取組の実施に努めてほしい。	○	○	パンフレット		
			業務の一部を委託する場合の業務内容等			・清掃、設備管理、警備等、専門性の高い業務や、質の高い適切な業務を実施することができる専門業者をお願いすることが好ましい業務・業種などは委託する。また、県内中小企業の受注機会の確保の観点からも、地元企業を優先し、地域産業活性化に繋げる。	・外部委託については、大雨による土砂崩れ被害箇所の下草刈り等を除き、提案に基づいて実施した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○			
	(2)	施設の維持管理	施設及び設備の維持管理業務の実施方針	15	12	施設及び設備の保守点検、清掃業務、警備業務等の維持管理業務についての実施方針	・効果的に保守点検できる計画のもとでの保守点検、利用者に不快感を与えないような日常清掃・定期清掃等の清掃業務を実施する。	・計画のもとでの保守点検、日常清掃・定期清掃等の清掃業務を実施した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		
						巡回警備や夜間の警備会社への委託による機械警備の警備業務を実施する。	・巡回警備や夜間の警備会社への委託による機械警備の警備業務を実施する。	・巡回警備や夜間の警備会社への委託による機械警備に加えて、防犯カメラの設置も行った。	・提案に基づいて適切に実施し、警備の効率化等にも取り組んでいる。	○	○		
						施設の特性を踏まえた維持管理の取組状況(利用の支障となる樹木の伐採・整理、広場・林道・散策路の刈払い等、美観を確保しながら、利用者の安全確保に配慮した維持管理)	・環境特性に応じたエリア分けにより、季節や環境状況に応じてメリハリをつけた整備を実施する。 ・利用者の安全を考慮するとともに、利用頻度の高い場所の美観の確保や景観スポットの整備などにも配慮する。	・提案に基づいて実施した。 ・利用頻度や季節に応じながら、また景観スポットを意識した整備を実施した。	・下草刈りの時期を調整する等、適切に実施されている。	○	○		
						危険生物と生息環境の除去実施、木工工具や機械の手入れ等維持管理に努める。	・提案に基づいて実施し、スズメバチ等の危険生物による事故が発生する前に対策を行った。	・危険生物が断続的に発見されているため、引き続き危険生物対策に努めてほしい。	○	○			
						施設の運営方針及び特性を踏まえた森林・林業の普及、研修事業の場の提供と利用承認及び調整について	・利用承認にあたっては、利用者の利用目的が、条例等に定める21世紀の森の利用基準に合致しているかを確認する。	・提案に基づいて実施するとともに、林業関係者等の研修等が円滑に行えるよう、事前の打合せを密にし、円滑な研修等ができるように運営している。	・提案に基づいて適切に実施するとともに、団体の円滑な利用に努めている。	○	○		
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進・サービス向上の取組	20	12	より多くの利用を図るため実施する森林・林業に関する展示、自然観察並びに林業研修等の普及に関する事業等の実施方針、内容等	・自然環境見識者との連携による事業の実施、林業研修等の普及に関する支援、県立高校等の生徒に対する林業の啓発活動、「未病の改善」として健康増進プログラムの提供、出張木工指導の推進や、マイクロバス等での送迎等のサービスの向上を図る。	・提案に基づいて実施するとともに、指定管理者の管理する他の施設との連携を深めて、各施設をめぐるプログラムを策定した。(令和3年度は策定したものの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止)	・提案に基づいて適切に実施しており、今後、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、拡大に向けて取り組んでほしい。	○	○		
						より多くの利用を図るために行う効果的な広報・PR活動の内容等	・HPやSNS、パンフレット、各種チラシの作成及び配布、情報誌発行、行政広報へ掲載依頼、メディア(新聞・テレビ・タウン誌)等、企業の福利厚生関係や行政職員共済会等への情報提供、大雄山線や小田急線の構内へのチラシ配架、近隣施設での広報掲示依頼等を図る。	・新型コロナウイルス感染症の影響で掲載依頼をしていた自主事業がなくなり、メディア等への情報提供は実績としてはなくなったが、その他は提案に基づいて実施している。	・提案に基づいて実施しようとしており、今後、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、適宜、拡大してほしい。	○	○		
						アンケートなど利用者満足度調査の実施方法	・アンケートなどで感想や意見を遠慮することなく伝える手段として、森林館正面にご意見箱を常設	・提案に基づいて実施した。	・令和2年度と比較して回収率が上がってきているので、引き続き取り組んでほしい。	○	○		
						利用者ニーズ・苦情の把握のための効果的な手法及びその内容の事業等への反映の仕組み等	・利用者との日常的な会話、電話やメールによる意見や要望・苦情を把握、全員でいち早く共有し、会議等で対応策を検討。内容に応じ、県への報告や協議を実施する。	・提案に基づいて実施した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○			
神奈川県手話言語条例や外国人への対応等	・神奈川県手話言語条例の趣旨を理解し、現在のスタッフが、コミュニケーション支援ボードや筆談ボード、表示の外国語併記など、工夫をしてコミュニケーションを図る。	・コミュニケーション支援ボードや筆談ボードの設置を行うとともに、手話に関する教材等で職員の理解を深めた。	・提案に基づいて、コミュニケーションを図る工夫をしている。	○	○								
利用料金の設定、減免の考え方	・利用料は条例に基づき200円 ・障がい者の利用、指定管理者主催事業や、県の承認した利用においては減免する。	・提案に基づいて実施した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○									

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和3年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	自主事業の実施	20	12	利用者ニーズを把握し、施設の特徴をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	・森林及び自然観察の場の提供、森林及び林業に関する知識の普及・向上並びに林業の振興を図り、県民の保健及び休養に資することを踏まえ、実施する。 ・自然観察型の事業として自然観察会の実施（山野草観察、野鳥観察、昆虫観察会、きのご観察会、星座観察会） ・知識向上、林業振興に繋ぐ事業として講座シリーズの実施（森林・林業入門講座、森づくり・実践体験）木工キット販売、出張木工教室、森の恵みでモノづくり等。 ・県民の保険や休養に資する事業を実施（ハイキング、ノルディックウォーキング、ヨガ・ストレッチ教室）	提案に基づいて実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くを中止。実施したものは下記のとおり ・自然観察会・林業入門（3回・39名） ・未病対策プログラム（1回・9名） ・木工体験（4回・23名） ・森林文化体験（3回・65名）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した自主事業もあるが、できる範囲で適切に実施している。	○	○		
						自主事業の規模、経費面から、実現可能性と公の施設としての適正な額の設定	・参加料金については、経費を参加料金で負担できることをベースとした設定。	・経費を参加料金で負担できることをベースとして設定した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		
	(4)	事故防止等安全管理	事故防止等安全管理	5	4	通常の指定管理業務を行う際の事故防止等の安全管理の取組内容	・施設の日常点検・事前点検を実施、危険予知訓練の実施。木工作業時の安全対策として、木材加工用機械作業主任者講習を修了もしくは同等の資格を持った者を配置。	・日常点検・事前点検等を適切に実施した。また、木材加工用機械作業主任者講習を修了した者を配置した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		
						事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針	・緊急時等は、所長が統括管理者として、本社を本部としてバックアップも受けながら、関係機関と連携して対応に当たる。	・緊急時の体制は適切に構築するとともに、年3回緊急時の体制の確認を実施した。	・提案に基づいて適切に実施し、体制の確認も行っている。	○			
						急病人等が生じた場合の対応（救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等）	・職員に普通救命講習相当の講習を実施し、急病人等発生時に一時救命措置が可能となるよう体制を整える。	・2年に1回普通救命講習を受講することとしているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。体制の整備は実施している。	・提案に基づいて適切に実施しているが、令和4年度での講習の受講に努めてほしい。	○			
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携	5	4	ボランティア団体や地域の活動指導者と森林の手入れ作業や自主事業での出展等で連携・協力をしており、今後も交流・連携の促進を図る。	・かながわトラストみどり財団等と連携して事業を実施し、自主事業等でも連携を促進している。	・適宜、各団体と連携しており、今後とも連携を深めてほしい。	○	○			
						地域人材の活用、地域との協力体制の構築及びボランティア団体等の育成・連携の取組内容	・本社が南足柄市にあり、従業員の地元採用や地域の高齢者雇用を推進。	・提案に基づいて実施している。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		
							・地域団体や地域住民との協力体制を深めており、更なる体制の構築を図っていく。	・地元自治会との連携を行うとともに、県西地区活性化のシンポジウムにも参加し、南足柄市の観光活性化に向けた取組にも努めている。	・今後ともシンポジウムへの参加を継続し、南足柄市の観光活性化に貢献してほしい。	○	○		
						地元企業等への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	・非常時も迅速に対応ができるようなパートナーとして地元企業を優先的に選定。	・県内中小企業を優先している。	・提案に基づいて適切に実施している。	○			
							・森林整備は、必要に応じて地域の林業事業体に委託するとともに、ボランティア活動による森林整備作業も実施する。	・提案に基づいて実施している。	・提案に基づいて適切に実施している。	○			
III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	諸規定の整備	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	・法令を遵守し、事業を展開することが企業としての義務ととらえ、企業コンプライアンスを策定し、行動の規範としている。また、コンプライアンスを遵守するために、コンプライアンス規定及びマニュアルを策定している。	・本社の規定を共有するとともに、安全衛生委員会でのコンプライアンス遵守の情報等も展開している。	・提案に基づいて適切に実施するとともに、様々なタイミングで周知している。 ・引き続き労働関連法令を遵守してほしい。	○		○	労働環境セルフチェック表
							・個人情報保護、労働に関する諸規定を定めるほか、社長直結のリスク管理委員会が研修等を実施。	・提案に基づいて実施するとともに、全体ミーティング等で共有している。	・提案に基づいて適切に実施するとともに、様々なタイミングで周知している。 ・引き続き労働関連法令を遵守してほしい。	○		○	労働環境セルフチェック表
							・過去3年間に労働基準監督署等からの指摘事項はなし。	・今年度も指摘事項なし	○		○	労働環境セルフチェック表	
							・「ISO14001」の認証を取得、これに基づいた環境への配慮を実施。	・提案に基づいて実施している。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		
			環境への配慮			指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	・省エネ・LEDの採用、間伐材の有効利用などの取組、利用者への啓発等や職員への研修等の意識向上への取組も実施している。	・間伐材の有効利用として、木工教室の材料として使用したり、ペレットストーブによる啓発活動に活用した。	・提案に基づいて適切に実施している。	○	○		

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和3年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）				
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会 貢献	障がい者等へ の配慮	5	4	法定雇用率の達成状況等、障 がい者雇用促進の考え方と実 績	・法律の定める雇用率達成のため、障がい者就労支援施設と連携を深めていく。	・本社とグループ会社とで雇用率向上 に努めている。	・法定雇用率の達成に向けて、引き継 ぎ取り組んでほしい。	○			
						障害者差別解消法に基づく合 理的配慮など、「ともに生き る社会かながわ憲章」の主旨 を踏まえた取組についての考 え方	・「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を理解し、利用者の目線に立った施設 の利用しやすさを追求。	・憲章の趣旨を理解した上で、障害の 有無に関わらず、利用する方の目線に 立ち、利用しやすさを追求している。	・提案に基づいて実施しており、引き 続き利用者の目線に立って、利用しや すさを追求してほしい。	○			
						神奈川県手話言語条例への対 応	・神奈川県手話言語条例の趣旨を理解し、工夫をしてコミュニケーションを図る。	・筆談ボードの設置を行うとともに、 手話に関する教材等で職員の理解を深 めた。	・提案に基づいて、コミュニケーション を図る工夫を引き続き進めてほし い。	○	○		
		社会貢献等	・地域の中小企業として、地域への社会貢献を会社理念として事業活動を実施。	・県西地域活性化のシンポジウムに参 加し、南足柄市の観光活性化に向けた 取組に努める。	・提案に基づき、SDGsへの取組も 実施している。	○	○						
			社会貢献活動等、CSRの考 え方と実績、SDGs（持続 可能な開発目標）への取組	・グリーン環境事業、野外教育事業などの事業実施、自治会等が実施する各種行事 への支援など事業以外でのCSRも実施している。	・提案に基づいて実施している。	○	○						
	(7)	事故・不祥事への対応、 個人情報保護	事故・不祥事 への対応	5	4	募集開始の日から起算して過 去3年間の重大な事故または 不祥事の有無並びに事故等が あった場合の対応状況及び再 発防止策構築状況	・過去3年間の重大な事故・不祥事はなし。	・重大な事故・不祥事はない。	・事故・不祥事は発生していないた め、今後も規定等を遵守すること によって事故防止に努めてほしい。	○	○	○	労働環境セ ルフチェッ ク表
						個人情報保護についての方 針・体制、職員に対する教 育・研修体制及び個人情報の 取扱いの状況	・個人情報保護基本規定を策定し、個人情報保護の方針体制を定めている。個人情 報の保護・漏えい防止のため、取扱責任者、従事者の選定や、その体制を定めて対 応。職員に対しては重要性や守秘義務を理解させ、指定管理業務マニュアルの運用 に沿った個人情報保護の研修を実施する。	・提案に基づいて実施した。	・提案に基づいて適切に実施して いる。	○	○		
		個人情報保護											

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和3年度の事業実績（E）」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。